

第14回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

第16回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

情報提供・相談支援部会 報告

2021年7月9日（木） 13:00～15:00 開催

オンライン会議システム

0

部会の報告内容 (2021年5月27日（木）オンライン開催)

1. 開会のあいさつ
2. 本日の概要
3. 第3期がん対策推進基本計画の中間評価ならびに小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について
4. がんと診断されて間もない人への情報資材作成
作成・査読・提供・活用・評価について
5. 拠点病院の整備指針に関する調査結果を踏まえた部会としての検討について
6. 地域相談支援フォーラム報告・質疑
7. 相談員研修、国立がん研究センター認定事業について
8. その他
9. 閉会のあいさつ

1

情報提供・相談支援部会

がんと診断されて間もない人への情報資料作成WGの発足と活動のご報告

- 第15回部会にて：がんと診断されて間もない人への情報提供資料：がん情報編集委員会企画案の提示があり、部会として協力し、共同企画として情報資料を作成することとなった。

関連資料の刷新に伴い、貴部会のご協力のもと、より適切な情報提供方法も想定した資料作成とする。

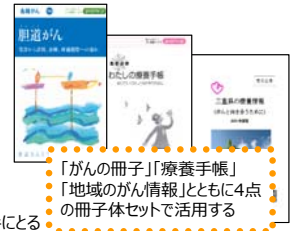


目的

- 確定診断されて間もない患者に、これから治療を始めるにあたって「聞く、確認する、相談する」といった行動につながるように水先案内をする

利用・活用ルート イメージ

- WEBで見る
- がん相談支援センターで冊子を手にとる
- 院内のリーフレットラックで冊子を手にとる
- **医師から冊子を手渡される**
- 医師からがん相談支援センターを紹介され、冊子を手にとる
- 図書館などの公共機関のリーフレットラックなどで冊子を手にとる



情報量

- 冊子P32版（8000字）

公開予定時期

- 2021年度中

第15回 情報提供・相談支援部会（2020/11/27）資料を改編

2

地域がん診療連携拠点病院の指定要件より抜粋 p13

4 情報の収集提供体制

(1)がん相談支援センター

- ① 相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備すること。

ア 外来初診時等に主治医等から、がん患者及びその家族に対し、相談支援センターについて説明する等、**診断初期の段階から相談支援センターの周知が図られる体制を整備すること。**

イ **地域の医療機関に対し、相談支援センターに関する広報を行うこと。**また、地域の医療機関からの相談依頼があった場合に受け入れ可能な体制を整備することが望ましい。

3

情報提供・相談支援部会 検討チーム WGメンバー (敬称略)

(2021年1月14日開始時点)

出江 洋介	東京都立駒込病院	医師／患者サポートセンター長
清水 理恵子	国立がん研究センター中央病院	社会福祉士
松永 直子	国立がん研究センター中央病院	社会福祉士
山内 智香子	滋賀県立総合病院	医師／滋賀県相談支援部会長
岡村 理	滋賀県立総合病院	社会福祉士・精神保健福祉士
伊藤 由美子	兵庫県立がんセンター	看護師
森田 勝	国立病院機構九州がんセンター	医師／がん相談支援センター部長
増田 昌人	琉球大学病院がんセンター	医師／がんセンター長

4

検討チームで考えた 冊子作成の目的・構成と込めたメッセージ

目的

- ・ 診断後間もない方の不安を和らげ、この時期に特に必要な情報を届ける。
- ・ 医師との会話の助けとなること、困ったときには誰かに相談することができることを知ってもらう。
- ・ 冊子をお渡しすることで、医師や医療者から“大切な患者さんへ”お伝えしたいメッセージを伝える。

構成とメッセージ (4月時点)

1. がんと告げられたときに不安を感じることは自然なことです
 - 「助けて」を伝えてください
 2. がん相談支援センターでお話してみませんか？
 - どんな些細に思えることでも、どんなタイミングでも相談できる
 3. 納得して決めるために、確かな情報源を押さえましょう
 - 主治医は大切な情報源、「がん情報サービス」は検索の入り口、「がんの冊子」・「地域のがん情報」は情報の道しるべ…など
 4. あなたを囲む医療チームとともに治療のことを考えます
 - 治療、セカンドオピニオン、副作用、妊孕性など
 5. がんになっても生活は続きます
 - 家族への伝え方、仕事、お金、気持ち、支える人のことなど
- ・ あなたのこれからと一緒に

5

検討チームで考えた 冊子作成の目的・構成と込めたメッセージ

目的

- ・ 診断後間もない方の不安を和らげ、この時期に特に必要な情報を届ける。
- ・ 医師との会話の助けとなること、困ったときには誰かに相談することができることを知ってもらう。
- ・ 冊子をお渡しすることで、医師や医療者から“大切な患者さんへ”お伝えしたいメッセージを伝える。

主治医チーム、特に医師にとっての冊子利用と配布のメリット

伝えたいけれど十分に伝えられない情報の補完

- ▶ 標準治療
- ▶ セカンド・オピニオン
- ▶ 妊孕性（治療を始める前に伝える必要がある情報）
- ▶ 就労支援（仕事をすぐに辞めないで） …等

多職種との連携

▶ **がん相談支援センターのご紹介**：困った時には、だれかに相談してほしい！そんな場として利用できる「がん相談支援センター」をいち早くご案内できる

配布方法

渡す相手：がんと診断されて間もない方（ご本人）

渡すタイミング：がんと診断（告知）後できるだけ早めに。診断後～初回治療開始前くらいまでに。

渡す人：がん診療連携拠点病院の医師または医療者


検討中のサンプル

イラストを入れて、混乱時も読みやすく

（ラフ画／草案です）

〈第1章〉

がんと告げられたあなたへ、最初に伝えたいこと



「いきなり「がん」で言われても…」
「先生の話がぜんぜん入ってこない」
「これからどうなるんだろう」
「誰に相談したいのだろう」

1 驚き、嘆き、怒り、不安などの感情がわき起こることは自然な心の反応です


がんと告げられるのは衝撃的なこと。無防備な心にはありません。
「頭が真っ白になって、記憶がほとんどない。いろいろな決めなくてはいけないこと。」「
数日たつと、徐々に悲しみや不安が湧いてきます。
「なぜ私だけ苦しい思いをしなくていいんだろうか。」「
「まさか私が…。がんであるはずがない。」「
気持ちが不安定になったり、やり場のない感や無力感を感じたりすることは、事実を一度に受け入れることが、自然な心の防衛反応です。

2 誰かに「助けて」を伝えて欲しい

不安や落ち込みを「一人で解決しよう」と思ってしまう方もいます。しかし「誰かに伝えることは、心の痛みが大きい」と

〈第2章〉

がん相談支援センターって、どんなところ？




「先生に聞きたかったことが聞けなかった…」
「ただただ不安で、何を相談していいかわからない」
「治療が始まっていないけど、相談できるの？」
「治療について、わかりやすく説明してほしい」


1 全国にある、がんに関する相談窓口です

「がん相談支援センター」は、全国の「がん診療連携拠点病院」などに設置されています。全国の拠点病院については、下記のQRコードもしくは検索によりお調べください。
がん相談支援センターには次のような特長があります。

- ・ 看護士、社会福祉士、公認心理師などが相談員として常駐しており、
- ・ 窓口での相談だけでなく、電話でも相談できます。
- ・ 相談は無料です。
- ・ 患者さんはもちろん、ご家族でも相談できます。
- ・ がん相談支援センターがある病院に通っていないなくても、また、匿名でも相談できます。

相談内容を、ご本人の了解なしに主治医をはじめ他の人に伝えることは決してありませんので、安心して相談いらしていただけます。

※1 がん相談支援センターについて、「近いうちを探したい」「より詳しく知りたい」という方は、

 がん情報サービス がん相談支援センターへ

※2 がん診療連携拠点病院
 全国どこにお住まいでも質の高いがんの医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した施設。

 がん情報サービス がん診療連携拠点病院

11月頃完成予定！目指して

今後のすすめ方

検討チームよりのお願い

冊子の査読のご協力

- 作成中の冊子の内容について、査読のご協力をお願いします
 - 医師2名程度、その他の職種（看護師、社会福祉士、事務員等）2名程度

冊子のタイトルと表紙イラストに関するアンケートへのご協力

- タイトル案、（仮案：私たちの大切な患者さんへ～がん治療にのぞむあなたに知っておいてほしいこと～）表紙イラスト案へのご意見ををお願いします

冊子の効果測定のための調査（案）へのご協力

※ 厚労科研研究班と協力し実施します

- 冊子をお渡しいただく診療科の医師
 - 患者さんとの信頼関係が築きやすくなった
 - 説明しやすくなった
 - 大切な説明を忘れなくなった
 - 冊子を利用したい …等
- 相談支援センター
 - ご協力いただく診療科の患者さんの利用人数（初回）
 - 初めて相談支援センターを利用した時期 …等

令和2年度

北陸地区地域相談支援フォーラム開催概要

- 日時：令和2年11月28日（土）13:00～15:50
- 参加方法：オンライン Webex
- 目的：
北陸3県のがん相談支援の状況を知り連携ができる
相談員として対応力と質の向上を目指す
- テーマ：
「その方の気持ちを聴いて、受け止めること
から始まる相談支援」
- 講師：
国立がん研修センターがん対策情報センター
櫻井雅代氏

令和2年度
WEB開催
北陸地区 地域相談支援フォーラム
富山県、福井県、石川県の現状
「その方の気持ちを聴いて、受け止めることから始まる相談支援」
日時 令和2年11月28日（土）13:00～15:50
プログラム：
13:00～ 開会あいさつ
13:10～ 各県の取り組み
13:40～ 各県のがん相談支援センターの取り組み
14:35～ 講演：傾聴と共感
～その先を見据えたがん相談の本質～
講師：国立がん研究センター
がん対策情報センター 櫻井雅代先生
15:45～ 閉会あいさつ
申込 オンライン登録で受付（一県末一人で参加必須）
がん相談支援 地域相談支援フォーラム
https://ganjojo.jp/med_pro/consultation/index.html
対象 北陸3県のがん相談支援センターに所属する相談員
主催：石川県がん診療連携協議会
共催：富山県がん診療連携協議会 福井県がん診療連携協議会
富山県 福井県 石川県
問い合わせ：金沢大学附属病院 がん相談支援センター
電話 076-265-2040

今後の 北陸地区地域相談支援フォーラムについて

- 令和3年度

主催 富山県

富山県がん診療拠点病院

富山県立中央病院



- 令和4年度

主催 福井県

福井県がん診療連携拠点病院

福井県立病院



10

整備指針に関わる相談員研修（演習）の開催

2021年度 基礎研修(3)の開催予定について

①（当初予定）6月オンライン開催： 5日程（定員180名；各回36名）

無事終了いたしました！

②（追加開催）10月オンライン開催： 2日程（定員72名；各回36名）

対象者には既に通知済！

【受講可否の状況】

- 定員180名を大きく上回る応募があった。
- 例年通り、整備指針に関わる可能性のある方を優先して①の受講者を決定
- 2020年度受講確定のご案内をしながら、開催中止となり受講できなかった方のうち、本年度も応募されたが、①に入れなかった方が一定数いらっしゃった。
=> この方たちが受講できるよう2日程を追加開催

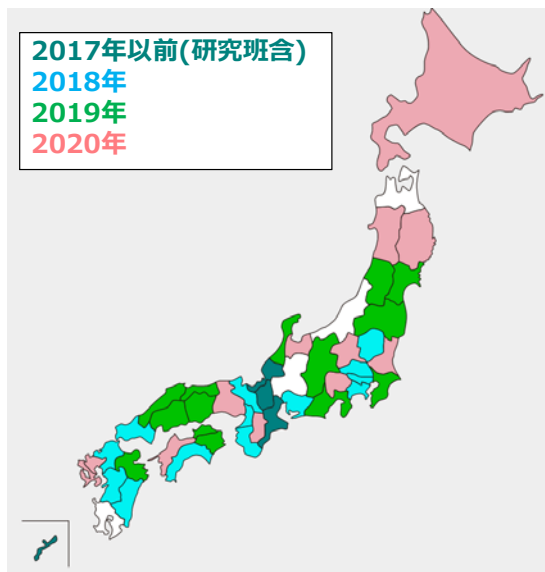
**ご希望通りの受講枠を確保できなかった方には申し訳ありません。
ご理解のほどお願い申し上げます。
また、実施にあたっては多くの相談員の皆様にファシリテータとして
ご協力いただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。**

11

さらに相談支援の“質の向上”を目指した研修の開催

2018～2020・2021年度 「相談対応の質保証を学ぶ」研修 講師派遣事業 実施状況

コロナウイルス等の状況により、2021年度も追加



2017年以前と2018～2020年の開催状況

2017年度以前	4都道府県	—
2018～2020年度	39都道府県	およそ990名

*受講生：Ⅲ群報告より集計（報告未実施の都道府県除く）

2021年度の開催状況

鹿児島県	日時未定	鹿児島大学病院	オンライン開催
岐阜県	日時未定	岐阜大学医学部付属病院	オンライン開催
青森県	日時未定	青森県立中央病院	オンライン開催
新潟県	日時未定	新潟県立がんセンター新潟病院	オンライン開催

2回目以降自主開催実施県

栃木県、埼玉県、東京都、福井県、滋賀県、福岡県

*Ⅲ群申請より集計

2回目以降の自主開催を、是非ご検討ください

12

相談支援の“質を継続的に担保”するための機会・取り組みとして

認定事業について

国民が安心して利用できるがん相談支援センターや相談員の環境整備を目的として、以下の認定事業を実施しています。

■「認定がん専門相談員」認定事業

整備指針に定められている相談員の研修受講要件を満たしているだけでなく、国際がん情報サービスグループ（ICISG）が示す“Core Values”をはじめとした基本姿勢を遵守しているか、

相談対応に必要とされる知識や情報を更新するため、継続的に学習し自己研鑽に励んでいる一定基準を満たした相談員を「国立がん研究センター認定がん専門相談員」として認定します。

★基礎研修に加えて +基礎研修19講義の最新講義の履修（+テスト合格）、+8講義の履修（テスト合格）
+拠点病院主催の研修参加・学術集会への参加（6単位以上 1単位=2時間以上）

■「認定がん相談支援センター」認定事業

整備指針に定められているがん相談支援センターの要件を満たしているだけでなく、

★提供する支援サービスの質を維持・向上させていくための体制整備に努めているか、

★相談対応を検証し評価・改善活動に取り組んでいるか等について、

一定基準を満たした施設を「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」として認定します。

13

「認定がん相談支援センター」認定事業



認定がん相談支援センター

【認定要件（一部抜粋）】

- がん相談対応を週に**20時間以上**行っていること、がんの相談対応の実績が**6ヵ月以上**あること
- 国立がん研究センター**認定がん専門相談員**を**2名以上**配置していること
- 「がん相談対応評価表を用いた相談対応の**質評価に関する研修**」を受講した相談員を原則**2名以上**配置していること

【認定施設に求められる取り組みの一例】

■ 相談部門のマニュアル整備

どの相談員が対応しても一定の質の支援が提供できるようにするため、相談部門の**マニュアルを整備**すること。

■ 部門内モニタリング

実際の相談対応を録音できる環境を整備し、音声データを用いて**相談対応の評価・改善策の検討**を**相談部門内で定期的に行う**こと。

■ 相談対応に活用する情報源の評価

相談対応に活用する情報の質を担保するため、相談部門で定めた評価基準に基づいて、**活用する情報源**（書籍やウェブサイト）を**定期的に評価、見直し**すること。

【認定施設を対象としたサポート内容の一例】

■ コールモニタリングの実施

模擬相談の際の相談対応や、模擬相談実施後に行われた**部門内モニタリング**でのディスカッション内容について、**第三者によるフィードバック**を行います。

■ 認定施設向け研修の実施

全国のがん相談支援センターの中でも、**より一層高い水準の「情報支援」**が提供できるよう、**がん情報サービスや診療ガイドラインの活用方法**について学ぶ機会を提供します。

14

「認定がん相談支援センター」認定施設

2021年5月20日時点



認定がん相談支援センター

2020年度申請⇒認定

埼玉県立がんセンター
千葉県がんセンター
福井県済生会病院
福井赤十字病院
佐久医療センター
長野赤十字病院
愛知県がんセンター病院
大阪医療センター
西神戸医療センター
兵庫県立がんセンター
四国がんセンター
九州がんセンター
九州病院

戸畑共立病院
済生会福岡総合病院
北海道がんセンター

2019年度申請⇒認定

鳥取県立中央病院

2018年度申請⇒認定

新潟県立がんセンター新潟病院
市立岸和田市民病院
神戸大学医学部附属病院

2017年度申請⇒認定

長野市民病院
山梨県立中央病院
大阪国際がんセンター
市立豊中病院
兵庫医科大学病院

現在認定 **25施設**

(4年毎の更新)

15

「拠点病院の指定要件に関する意見調査」を踏まえた 部会の意見の取りまとめについて

- 「拠点病院の指定要件に関する意見調査」
→ こちらの調査結果をもとに、情報提供・相談支援部会として検討すべき課題や提言内容について、協議をしていく。
 - さらに意見収集が必要な場合には、アンケート等実施予定
 - 提案事項の作成については、次回部会で協議予定

■ 第17回情報提供・相談支援部会

- 日時：2021年11月26日（金）13:00～16:00（予定）オンライン開催